

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 東葛ホールディングス
 コード番号 2754 URL <http://www.tkhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石塚 俊之
 (氏名) 吉井 徹

TEL 047-346-1190

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,415	24.0	188	47.9	181	48.6	109	50.2
24年3月期第2四半期	2,754	△22.3	127	△30.8	122	△31.6	72	△24.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 109百万円 (50.2%) 24年3月期第2四半期 72百万円 (△24.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	22.69	22.54
24年3月期第2四半期	15.11	15.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,378	2,772	43.4
24年3月期	6,419	2,707	42.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,765百万円 24年3月期 2,704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,803	1.0	376	5.7	366	5.5	194	5.6	40.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	4,830,000 株	24年3月期	4,830,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	800 株	24年3月期	800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	4,829,200 株	24年3月期2Q	4,829,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）におけるわが国の経済環境は、公共投資が増加基調にあるものの、生産活動、雇用環境、個人消費の改善に服感が出てきていることからこれまでの回復基調からは弱含みで推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、エコカー補助金（以下、補助金。）及びエコカー減税（以下、減税。）の効果によりハイブリッド車等対象車の販売が好調に推移したことから、当第2四半期連結累計期間の国内新車販売台数は2,590,505台（登録車（普通自動車）・届出車（軽自動車）の合計。前年同四半期比33.5%増）と震災の影響を受け販売台数が大幅に落ち込んだ前年同四半期を大幅に上回りました。

また、車種別で見ますと、ハイブリッド車（フィットハイブリッド、プリウス等）、コンパクトカー（フィット、ヴィッツ等）、ミニバン（フリード、セレナ等）、車両維持コストが安い軽自動車（NBOX、ミラ等）が販売の上位を占めております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

新車販売につきましては、前述の補助金及び減税の効果によりハイブリッド車等対象車の販売が好調に推移したこと、また、新型軽自動車「NBOX」の新車効果が続いていること等により、販売台数は1,127台（前年同四半期比47.1%増）と震災の影響を受け販売台数が大幅に落ち込んだ前年同四半期を大幅に上回りました。車検・12か月点検など整備業務を行うサービス売上、登録受取手数料等の手数料収入も増加しました。その結果、売上高は28億22百万円（前年同四半期比31.6%増）となりました。

中古車販売につきましては、新車販売からの下取車の入庫が増加し、また、オークションからの外部仕入も行い、引き続き販売車両の確保に注力した結果、販売台数は1,096台（前年同四半期比35.1%増。内訳：小売台数464台（前年同四半期比6.7%増）、卸売台数632台（前年同四半期比68.1%増））と増加しましたが、1台当たりの販売価格は低下しました。販売台数の増加に伴い登録受取手数料等の手数料収入は増加しましたが、整備業務を行うサービス売上は減少し、売上高は5億48百万円（前年同四半期比3.0%減）となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業では保険契約件数は増加しているものの、取扱い保険商品の入替え等により、保険取扱手数料が減少したことから売上高は43百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は34億15百万円（前年同四半期比24.0%増）となりました。

また、損益につきましては、営業利益は1億88百万円（前年同四半期比47.9%増）、経常利益は1億81百万円（前年同四半期比48.6%増）、四半期純利益は1億9百万円（前年同四半期比50.2%増）となり、前年同四半期比でいずれも増加となりました。これは、グループ全体に占める割合が大きい新車販売での売上高が増加したことにより、中古車販売及び生命保険・損害保険代理店業関連事業での売上高の減少、販売費及び一般管理費等の経費の増加をカバーすることができたことによるものであります。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期末連結会計期間末の流動資産は38億95百万円となり、前連結会計年度末に比べて13百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が64百万円増加、現金及び預金が15百万円、その他の資産が64百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は24億80百万円となり、前連結会計年度末に比べて24百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が12百万円及び投資その他の資産が10百万円それぞれ減少したことによるものです。繰延資産は2百万円となり、前連結会計年度末に比べて2百万円減少いたしました。

この結果、総資産は63億78百万円となり、前連結会計年度末に比べて40百万円減少いたしました。

（負債）

当第2四半期末連結会計期間末の流動負債は33億28百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億12百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が1億21百万円、未払法人税等が11百万円それぞれ増加、買掛金が1億65百万円、1年内償還予定の社債が15百万円、その他の負債が67百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は2億77百万円となり、前連結会計年度末に比べて7百万円増加いたしました。これはその他の負債が14百万円増加、長期借入金が7百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は36億6百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億5百万円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期末連結会計期間末の純資産合計は27億72百万円となり、前連結会計年度末に比べて64百万円増加いたしました。これは主に四半期利益1億9百万円及び剰余金の配当48百万円によるものです。また、自己資本比率は43.4%（前連結会計年度末は42.1%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ15百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には10億69百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は63百万円（前年同四半期は3億14百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1億81百万円から主に減価償却費49百万円、売上債権の増加額1億17百万円、たな卸資産の増加額25百万円、仕入債務の減少額1億65百万円、その他の資産の減少額59百万円、及び法人税等の支払額55百万円等を調整したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は6百万円（前年同四半期は3百万円の獲得）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出15百万円、貸付金の回収による収入5百万円、差入保証金の差入による支出3百万円及び差入保証金の回収による収入6百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は54百万円（前年同四半期は3億11百万円の使用）となりました。これは借入金による収入1億14百万円、社債の償還による支出15百万円、配当金の支払いによる支出48百万円及び新株予約権の発行による収入3百万円によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、平成24年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,549千円増加しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,084,568	1,069,145
受取手形及び売掛金	2,251,582	2,315,724
商品及び製品	335,601	338,366
その他	236,672	172,074
流動資産合計	3,908,424	3,895,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	325,454	316,699
機械装置及び運搬具（純額）	138,170	135,409
土地	1,689,171	1,689,171
その他（純額）	7,993	6,610
有形固定資産合計	2,160,790	2,147,890
無形固定資産	9,899	8,715
投資その他の資産	334,692	324,093
固定資産合計	2,505,381	2,480,700
繰延資産	5,755	2,877
資産合計	6,419,561	6,378,889
負債の部		
流動負債		
買掛金	577,323	411,984
短期借入金	2,390,442	2,511,809
1年内償還予定の社債	30,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	14,280	14,280
未払法人税等	46,249	57,997
賞与引当金	41,392	43,473
その他	342,086	274,325
流動負債合計	3,441,775	3,328,870
固定負債		
長期借入金	32,170	25,030
その他	238,185	252,831
固定負債合計	270,355	277,861
負債合計	3,712,131	3,606,732
純資産の部		
株主資本		
資本金	210,300	210,300
資本剰余金	199,711	199,711
利益剰余金	2,294,916	2,356,233
自己株式	△325	△325
株主資本合計	2,704,602	2,765,919
新株予約権	2,828	6,238
純資産合計	2,707,430	2,772,157
負債純資産合計	6,419,561	6,378,889

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	2,754,339	3,415,033
売上原価	2,045,887	2,601,395
売上総利益	708,451	813,637
販売費及び一般管理費	580,727	624,672
営業利益	127,724	188,964
営業外収益		
受取利息	1,126	1,041
受取手数料	6,202	3,105
その他	1,887	2,501
営業外収益合計	9,216	6,648
営業外費用		
支払利息	10,267	9,975
開業費償却	2,877	2,877
その他	1,399	843
営業外費用合計	14,545	13,696
経常利益	122,395	181,917
特別利益		
保険解約返戻金	9,743	—
特別利益合計	9,743	—
特別損失		
固定資産処分損	12	41
特別損失合計	12	41
税金等調整前四半期純利益	132,126	181,876
法人税等	59,139	72,267
少数株主損益調整前四半期純利益	72,986	109,608
四半期純利益	72,986	109,608

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	72,986	109,608
四半期包括利益	72,986	109,608
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,986	109,608
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	132,126	181,876
減価償却費	42,902	49,579
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,629	2,081
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,147	—
受取利息及び受取配当金	△1,126	△1,041
支払利息	10,267	9,975
固定資産処分損益 (△は益)	12	41
売上債権の増減額 (△は増加)	229,427	△117,904
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△47,427	△25,076
仕入債務の増減額 (△は減少)	104,715	△165,339
開業費償却額	2,877	2,877
差入保証金償却額	3,199	3,199
その他の資産の増減額 (△は増加)	93,685	59,376
その他の負債の増減額 (△は減少)	△33,752	2,193
小計	534,427	1,840
利息及び配当金の受取額	37	27
利息の支払額	△10,419	△9,574
法人税等の支払額	△55,907	△55,693
役員退職慰労金の支払額	△153,833	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	314,304	△63,399
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,322	△15,087
貸付金の回収による収入	5,364	5,364
差入保証金の差入による支出	△148	△3,500
差入保証金の回収による収入	2,408	6,855
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,302	△6,368
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△243,592	121,366
長期借入金の返済による支出	△7,140	△7,140
社債の償還による支出	△15,000	△15,000
配当金の支払額	△48,292	△48,292
新株予約権の発行による収入	2,828	3,410
財務活動によるキャッシュ・フロー	△311,196	54,344
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,409	△15,422
現金及び現金同等物の期首残高	818,413	1,084,568
現金及び現金同等物の四半期末残高	824,823	1,069,145

（4）継続企業の前提に関する注記

該当はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）セグメント情報等

（セグメント情報）

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,144,685	565,303	2,709,988	44,350	2,754,339
セグメント間の内部売上高又は振替高	87,764	2	87,767	—	87,767
計	2,232,450	565,306	2,797,756	44,350	2,842,107
セグメント利益	146,040	47,916	193,956	6,646	200,603

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	193,956
「その他」の区分の利益	6,646
全社費用（注）	△72,879
四半期連結損益計算書の営業利益	127,724

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,822,882	548,618	3,371,500	43,532	3,415,033
セグメント間の内部売上高又は振替高	112,640	—	112,640	—	112,640
計	2,935,522	548,618	3,484,140	43,532	3,527,673
セグメント利益又は損失（△）	199,995	65,537	265,532	△4,069	261,462

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	265,532
「その他」の区分の損失（△）	△4,069
全社費用（注）	△72,498
四半期連結損益計算書の営業利益	188,964

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。